

「藤沢市道路ストックマネジメント計画（素案）」に関する パブリックコメントの実施結果について

藤沢市では、道路ストックを効率的、効果的にマネジメントしていくため、「藤沢市道路ストック白書」、「藤沢市道路ストックマネジメント計画」、施設ごとの「個別施設計画」の3部構成（道路ストックマネジメント関連計画）により、現状、課題、今後の管理方針及び長寿命化・修繕等の取組等を示していきます。

本計画は、白書を基に、少子超高齢化の進展、人口減少といった社会経済情勢の変化等を踏まえながら、道路ストックをマネジメントする視点にたち、目標及び各施設の管理方針等を示した総合的な計画としています。

本計画の素案をとりまとめたことから、「藤沢市道路ストックマネジメント計画（素案）」に関するパブリックコメントを行いました。この度、いただいたご意見のとりまとめを行ったため、実施結果を公表するものです。

公表にあたっては、皆様方からいただきましたご意見を要約、類型化し、藤沢市の考え方を付しています。また、個別の回答は行っておりませんのでご了承ください。

ご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 パブリックコメントについて

(1) 意見等の募集期間

2020年（令和2年）4月27日（月）～同年5月27日（水）

(2) 意見等を提出できる方

市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所等を有する方及びその他利害関係者

(3) 意見等の提出方法

- ・ 藤沢市道路維持課まで郵送、ファクス又は持参
- ・ 藤沢市ホームページ上の意見提出フォーム（電子提出）

2 パブリックコメントの実施結果について

(1) 意見数等 6件 3人

(2) 「ご意見要旨」及び「藤沢市の考え方」について 3Pのとおり

■本パブリックコメントに関する問い合わせ先

藤沢市 道路河川部 道路維持課 計画担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1-1（分庁舎5階）
電話：0466-50-3548（直通） FAX：0466-50-8422

パブリックコメントの実施結果

○パブリックコメント

6 件

3 人

「意見分類」の説明

	件数	構成割合
1 全体に対する意見	1 件	16 %
2 各項目に対する意見	5 件	83 %
第4章-1-(2) 3つの基本方針と12のプログラム	1 件	
第4章-2 基本方針に基づく12のプログラム(5 新技術の導入)	1 件	
第4章-2 基本方針に基づく12のプログラム(9 道路台帳GIS)	2 件	
第5章-1-(2) 今後の管理費	1 件	
合計	6 件	100 %

(※) 「反映状況」の説明

	件数	構成割合
① ご意見の趣旨を踏まえ、計画に反映しました。	0 件	0 %
② すでに計画に位置付けてあります。	2 件	29 %
③ 今後の取組みの参考にします。	2 件	29 %
④ 計画への反映は困難です。	0 件	0 %
⑤ その他	3 件	43 %
合計	7 件	100 %

■1つの意見に対して、複数の反映状況があるため、意見分類の件数とは異なります。

「藤沢市道路ストックマネジメント計画（素案）」に関するご意見要旨と藤沢市の考え方

1 全体に対する意見

番号	ご意見要旨	反映状況 (※)	ご意見に対する藤沢市の考え方
1	道路をマネジメントしていく視点は、この時代、重要なことだと思う。 場当たりの管理はもう止めてほしい。	②	ご指摘のとおり、少子超高齢化の進展、人口減少といった社会経済情勢の変化等を踏まえるなかでは、道路をマネジメントする視点にたつことが重要であると考えています。 今後は、本計画等に基づき、計画的に道路ストックの管理を進めていきます。

2 各項目に対する意見

番号	ご意見要旨	反映状況 (※)	ご意見に対する藤沢市の考え方
2	○第4章-1-(2) 計画はよく整理されており、読みやすかったです。社会インフラの管理では、課題対応に沿った様々なプログラムが整理されており、今後、個別施設計画へ反映していくものと考えますが、どのように実現化していくのでしょうか。	③	本計画策定後は、随時、「個別施設計画」の策定・改定に取り組んでいきます。 個別施設計画の策定等の際には、各施設特性に応じ、各プログラムの具体的な取組内容等を位置付けていく予定としています。
3	○第4章-2 プログラム5 市民が道路の問題を報告できる機能（画像のアップロード、場所）が必要です。	② ③	本計画32P（新技術の導入等による効率化）に記載のとおり、道路維持部門としても、道路管理の効率化を図っていくため、道路通報システム（アプリ）の導入に向けた検討を進めています。 現在、システムの試行に向けて、大学機関と連携を進めていますが、まずは現場と事務所をつなぐ庁内ツールとして活用し、課題や体制等を整理していくなかで、市民への開放等を検討していきたいと考えています。
4	○第4章-2 プログラム9 GISデータはウェブサイトに公開する必要があります。（例：伊豆の国市 道路台帳図など）	⑤	本市でもGISデータを活用した「ふじさわキュンマップ」を本市ホームページで公開しており、「市道認定路線網図」、「道路台帳平面図」等の情報をご確認いただくことができます。 ■ふじさわキュンマップ： https://webgis.alandis.jp/fujisawa14/portal/douro/index.html
5	○第4章-2 プログラム9 GISデータを使用して防災情報マップを作成することが必要では。	⑤	本市ではGISデータを活用した「ぐるっとふじさわマップ」を本市ホームページで公開しており、「津波」、「土砂災害」、「洪水」ハザードマップ等の防災情報をご確認いただくことができます。 ■ぐるっとふじさわマップ： http://guru-fmap.city.fujisawa.kanagawa.jp/
6	○第5章-1-(2) 今後10年間の管理費が約25億円と試算されており、その構成では道路舗装の管理費が最も多くあると書かれています。分かる範囲で内訳をお教えてください。	⑤	今後10年間の管理費の試算結果として、主な施設の年間管理費（平均）は次のとおりです。 ■道路舗装：約10.8億円、橋りょう：約4.3億円、道路照明灯：約2.6億円